

2006年1月1日から2010年12月31日までに  
当院救命センターへ熱傷で救急搬送された患者さまへの  
お知らせ

**<救急隊員による熱傷面積評価>について**

川崎医科大学救急医学教室では、現在川崎医科大学倫理委員会の承認を得て、研究計画書に記載いたしましたように研究を行っております。

日本における救急搬送システムの原則は救急患者を重症度に応じて軽症（一次）から重症（三次）に分け、最重症者を救命センターに搬送することです。広範囲熱傷は三次救急の対象であり当然救命センターに搬送されるべきですが、そのためには現場における救急隊員による正確な熱傷面積の評価が必要です。熱傷治療の先進国である米国においては熱傷センターが設置され、その搬送基準も明らかにされており、比較的軽症患者でも熱傷センターは受け入れています。このような状況でも米国では病院到着前の重症度判定が検証の対象とされてきました。しかし、日本では熱傷症例の病院前重症度判定と搬送先選定の妥当性に関する大規模な報告はありません。本研究では病院前における救急隊により算定された熱傷面積を院内での初回評価と比較することにより、救急隊員による重症度評価の正確度を検討することを最終目的としています。

・今回の研究においては、カルテに記録されている個人情報が見えられないようにデータを管理し、細心の注意を払って研究を行います。研究成果は学会や論文に発表する予定ですが、患者さまの個人情報が公表されたり、外部に漏れることは決してございません。

・個人が判別できない状況で研究を行います。また研究結果を患者さまやご家族にお知らせすることはございません。

・本研究により新たに加わる侵襲や予想される有害事象はなく、対象者の受ける利益および損失はありません。

・学内研究費のみを使用する研究のため、利益相反は起こりません。また、対象者への謝礼もありません。

・上記の研究においてご自身の検査データは症状などが利用されることについて同意いただけない場合には、お手数ですが、下記までご一報くださいますようお願いいたします。

<問い合わせ連絡先>

川崎医科大学附属病院 救急科 石原 諭

倉敷市松島 577 TEL: 086-462-1111

ishihara@med.kawasaki-m.ac.jp